

## 誰もが健やかで幸せに暮らせる地域社会の実現

### ひたちなか市自治会連合会総会を開催

平成30年度自治会連合会総会が、4月24日(火)、ホテルクリスタルパレスで開催されました。来賓を代表し青柳警察署長のあいさつをいただき、議事に入りました。総会では平成29年度の事業、決算報告並びに平成30年度事業計画(案)と予算(案)について審議され、いずれも原案どおり承認・議決されました。補欠役員の選出では、新会長に柴田磐郎氏(七丁目自治会)、副会長に古川正一氏(高場南自治会)、藤咲武夫氏(田彦西自治会)が選任されました。本間市長より自治会長への市政協力員の委嘱が行われ、退任される19自治会長に感謝状が贈呈されました。



自治会連合会は各自治会と連携・協調し、誰もが健やかで安心して暮らせる地域社会の実現に取り組みます。

本年度の活動指針となる主な事業は次のとおりです。

#### 組織基盤の確立

- 自治会未加入者や高齢化等の諸事情で脱会する方への対策を推進する。
- 自治会活動アンケートや情報交換の結果を踏まえ、加入促進や継続加入を推進する。



#### 自治会活動の推進

- 自治会の将来を見据え、自治会運営の安定と健全化のために役割や財源について見直し、検討する。
- 自治会活動をより広く、多くの人たちに知ってもらうよう広報に努める。
- 各福祉団体と連携し、地域の実情に即した福祉活動が行えるよう支援する。

#### 防犯・防災・交通安全対策

- 警察署などの関係機関と連携を密にし、防犯活動の強化に努める。
- 防災機能の向上が図れるよう、自主防災活動を支援する。
- 市交通安全対策本部事業への積極的な参加に努める。

#### 市などへの提案・要望

- 自立と協働のまちづくり基本条例における行政と自治会の役割分担に基づき、単位自治会共通の課題解決に向けた提案・要望を行う。



平成29年度  
自治研修懇話会  
情報交換会

1月31日(水)、ホテルクリスタルパレスにおいて、平成29年度自治研修懇話会情報交換会を開催しました。

第1部には市民社会パートナーズ代表 庄嶋孝広氏による「将来に向けた自治運営のあり方」についての講習と、津田第二自治会・平磯自治会の活動事例発表がありました。

第2部では、同じ未来予想を持つ自治会同士に分かれたグループディスカッションが行われました。現在の取組みを洗い出し、自治会の未来予想図を描きながら、自治会運営の将来について熱い議論が交わされました。前回に比べて取組み内容が具体的になり、より活発な情報交換会となりました。

## 新任自治会長研修会 5月18日(金)

### 参加した2名の自治会長に感想を聞きました



六ッ野自治会  
会長  
**伊藤 美郎**

研修では社会福祉協議会や市役所各部署と自治会との関連、補助金内容、高齢者支援など基本の仕組みを学びました。新人とはいえ100パーセント受け身の研修生となってしまいましたが、曖昧だった事項の理解度を高めることができました。

当自治会も、止まらない高齢化が運営上の大きな課題。その様々な影響を緩和する手立てを考えると、市や社会福祉協議会の施策の理解なしでは有効な手は打てません。研修の中でもそういった施策を知ることができた時間は、特に有意義なものでした。



田彦東自治会  
会長  
**中村 厚士**

年間で行うべき事項など、研修で受けた説明はわかりやすかったのですが、補助金申請をはじめ覚える事は盛り沢山でした。不安もありますが、市の担当部署に指導を頂きながら乗り切っていこうと思えました。

当自治会も様々な問題を抱えていますが、まとまりの強い自治会であると感じています。今年度は公園建設や地域活性化のための新行事を計画・実行し、会員の憩いの場を作れたらと考えており、自治会役員一丸となって楽しみながら、自治会の運営を進めていこうと思えます。

## 新任自治会長紹介

下記の方々が新たに自治会長に就任しました。平成30年度(敬称略)

- |                |                 |                  |
|----------------|-----------------|------------------|
| ● 柳橋 正高 (津田第一) | ● 海老澤 寛 (津田西山)  | ● 蒲生 哲雄 (市毛北)    |
| ● 橋本 和雄 (市毛南)  | ● 角谷 吉成 (武田)    | ● 上遠野 貞次 (勝田本町)  |
| ● 黒澤 文博 (馬渡)   | ● 中村 弘行 (弥生西谷津) | ● 照沼 禎浩 (足崎)     |
| ● 三上 貢 (向野)    | ● 山田 博 (西原)     | ● 清水 秀夫 (下高場)    |
| ● 中澤 照雄 (柏野)   | ● 淀 利美 (さわ野杜)   | ● 渡邊 健二 (東石川一丁目) |
| ● 伊藤 美郎 (六ッ野)  | ● 大山 力敬 (東石川)   | ● 中村 厚士 (田彦東)    |
| ● 宮本 能光 (西大島)  |                 |                  |

## 高齢者ふれあいサロン活動支援事業

自治運営研修視察

7月3日(火) 宮城県白石市

例年より早い梅雨明けで連日猛暑日が続く中、真田幸村公ゆかりの地、白石市社会福祉協議会において自治運営研修視察を行いました。白石市は、伊達家重臣片倉小十郎の城下町として栄え、歴史とロマンを秘めているまちでもあります。研修では、社会福祉協議会事務局長から現在白石市の抱えている高齢化の現状、サロン事業の目的、実施している活動状況などの説明がありました。また、白石市の越河地区及び本郷第二自治会の応援コンシェルジュの皆様からは「誰もが楽しく住みやすい地域」を目指したサロン活動の事例発表がありました。行政は勿論、自治会の協力、住民の理解のもとに、市及び自治会から助成金などの支援を受け、「健康長寿」へのサポートを積極的に行っています。内容は、いきいき百歳体操・お茶会・脳トレ・料理など幅広い事業を考案し、活動展開しています。

当連合会としても今後、各地域で開催されている高齢者サロン事業に活かしていきたいと思えます。





## 自治連コラム

# “ひと声かけ、顔が見える” 回覧板

少子高齢化や核家族化で、世帯の人数が減少したり、車社会で外出や移動の機会が多くなってきている現代社会。人の手と足を使う素朴な伝達手段として、お隣さんの顔が見える回覧板について考えてみます。

昨今は、女性活躍社会と言うように、男性だけではなく、女性も職場の第一線で戦力として働くのが、当たり前前の時代になっていきます。昼間、留守の世帯も多く、回覧板が回るのに日数がかかったり、中には回覧の途中で、行方不明になってしまうケースもあるかも知れません。留守のためポストに入れて置き、顔と顔を合わせ言葉を交わす機会が少なくなっていますか。

情報社会と言われますが、身近な地域の情報も従来は口コミで伝わり、地域住民で共有されていたと思います。安心・安全の確保には、地域で起きている問題をいち早く知り、それに備えることが必要ですが、情報が伝わらない地域になっていないでしょうか。子どもたちを取り巻く問題や各種の詐欺事件、空き巣などの犯罪への対応が遅れたり、できなくなってしまうのが心配です。

市報などの広報紙や自治会の回覧の配布は、隣近所へ定期的に声を掛け合う機会であり、高齢者等の安否確認など潜在的な役割があります。ひと声かけ、顔が見える回覧板は、今後も重要な役割を担うのではないのでしょうか。



## 自治会(長)の活動報告について

現在、市内36自治会で、健康づくりや仲間づくりの場となっている「ときめき元気塾」を開催しています。今回は、前渡コミュニティセンターで開催している足崎団地自治会の活動内容について、鴨志田会長や会員の方にお話を伺いました。



元気アップ体操の様子

### ■ 内容

足崎団地自治会では、今年1月から月1回のペースで、会員29人により、介護予防に役立つ元気アップ体操や脳トレなどが開催されています。「体を動かすことができ、知り合いと集まる良い機会である」「笑いながら体操をすることができ、楽しみにしている」など会員の方からも好評です。

女性ばかりでなく男性会員も9人おり、「もっと男性も積極的に参加してほしい」「地域のサークル活動が少なくなってきたので、もっと大勢の方で実施してほしい」など積極的な参加を求める意見もありました。

鴨志田会長は、「今後ときめき元気塾の活動が長続きするよう、他団体の活動内容も参考にしていきたい。会員の皆さんがやりたいことや取り組みたい内容を検討して、仲良く楽しく今後も続けていきたい」と今後の意欲を語りました。

あなたもときめき元気塾で仲間と一緒に健康づくりに励んでみませんか？

今後も自治会連合会だよりを通して、自治会長の活動内容についてお知らせしていきます。

## 自治会の取り組み AED(自動体外式除細動器)を設置しています



市では、自治会に対し、AED購入時にかかる経費だけでなく、昨年度から新たにAEDリース契約にかかる経費の補助を開始しています。

これにより、当初、多くの予算づけをしなくてもよくなり自治会でAEDを設置しやすくなりました。

近年、安全意識の高まりなどによりAEDを購入・リースし、集会所等に置く自治会が増えており、現在約8自治会がAEDを所持しています。また、市内全小学校には屋外にAEDが設置されています。いざというときに活用できるよう、身近なAEDの設置場所を確認しておきましょう。

AEDリース契約・購入時にかかる経費の補助額	
リース	次のいずれか低い額に年度内の契約月数を乗じて得た額 ① 1ヶ月当たりのリース料の2分の1 ② 3,400円
購入	補助対象経費の2分の1または限度額20万円のいずれか低い額

# 自治会トピックス

## 健康づくり歩く会

## 1中地区

6月17日(日)に健康づくり歩く会が開催されました。今年は約100人の参加者が、講師による効果的な歩き方や正しい靴の履き方などの指導を受け、勝倉地区を歩きました。天候にも恵まれ、怪我や体調を崩す方もおらず、地域の皆さんと元気に完歩!

生活習慣病・認知症予防にも繋がるウォーキングを通し、地域の方々と交流できた良い機会でした。



## 緑化活動で地域をきれいに

## さわ野社

緑に囲まれた当自治会では、毎月、公園やその周辺の除草などをする緑化活動を行っています。厳冬期を除き毎月80人以上の方々の協力を得て行われ、12月の落ち葉回収で一年の自治会行事を締めくくっています。

今年の6月10日(日)には、縁あって依頼のあった特定外来植物(オオキンケイギク)除去ボランティアに参加しました。当日は台風の影響で蒸し暑く、除草場所が斜面との悪条件でしたが無事作業を終えました。参加された皆様、ご協力ありがとうございました。



## 河川クリーン運動

## 関戸町

那珂川・中丸川下流の沿岸と国道245線両側の地域に位置する当自治会は、毎年7月に実施される「那珂川水系クリーン運動」に参加しており、今年で5年目となりました。現在は近隣の4自治会と高校生のカヌー部が参加し、不法投棄物回収に努めています。

参加者一同、微力ながら河川・海洋汚染対策等の環境保全に寄与したいとの思いを持ち、世代を越えて参加しています。



## 「神敷台まつり」にぎやかに!

## 神敷台

神敷台まつりは、潤いのある町づくりを目指し、地域の方たちが交流を深める場として、自治会役員、ちからこぶの会、子ども会などの協力を得て毎年2月頃に開催しています。

例年、屋外では焼きそば・綿あめ・ポップコーンなどの模擬店や抽選会、室内では輪投げ・射的ゲームなどが行われ、小さな子供たちから高齢者までたくさんの方で賑わいます。

今年のまつりは節分と重なり、本間市長や年男による豆まきがあり、子供たちの大歓声が響いていました。



## 編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

地域の公園清掃を始め、防犯パトロールや環境保全など多岐にわたる自治会活動へのご協力に対し厚くお礼申し上げます。

継続的なこれらの活動はご近所とのコミュニケーションを深め、ひいては防犯や減災、子どもや一人暮らしの高齢者の見守りなどにつながる大切な活動です。

ご近所付き合いの少ない方が増えていると言われる昨今、地域でのコミュニケーションを深め、安全で安心して住みやすいまちを皆さんと一緒に作りましょう。(連合会広報委員会)

自治会についての詳細情報は、市のホームページにも掲載しています。



<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shiminkatsudo/4/5/index.html>